

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

☆注意

この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

☆警告

- この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂けます。ただし交換工賃等の本製品以外の一切の費用は対象となりません。

正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

○タコメーター機能について

- ・DNタコメーターはハイテンションコードまたはイグニッションコイルのどちらかより点火パルスを読み取りエンジン回転数を表示する電気式タコメーターです。
- ・2サイクルおよび4サイクルエンジンの各気筒数に対応。(各車両に合わせての設定変更が可能です。)
- ・モンキー用当社製ツインスパークスーパードに完全対応
- ・エイプ50/100・XR50/100モタードへは別途12Vバッテリー装着でご使用いただけます。
- ・当社C.D.I.マグネットKIT(インナーローター)へは別途12Vバッテリー装着でご使用いただけます。
- ・ポイント点火、エンジンの種類によっては正確に表示がされません。(一部排気ガス規制モデルや、デジタル点火車両など)点火方式の特殊な車両およびCDIIにより点火が制御されている車両は正確に数値を表示できない場合があります。
- ・最高表示回転数は、16000rpm。

○温度計機能について

- ・本製品に付属している温度センサーはスティックタイプの形状になっており、用途によって別途アダプターを購入していただく必要があります。
- ・最高表示温度は、150℃。

商品内容

番号	部品名	数量
12345678	メディアムDNタコメーター	113
9	電源用配線	2122
10	エレクトロタップ	4
	タイラップ	1
	メーターマウントステー	2
	クッションラバー	
	メーターマウントカラー	
	ワッシャーA 5×18×1.0	
	ワッシャーB 6×16×1.6	
	6角フランジナット	

番号	部品名	数量
11213	パルスコードA	1
14	パルスコードB	1
15	熱収縮チューブ	13
1617	メスギボシ	3
1819	スリープー:メス	1
	スティックタイプ温度センサー	1
	六角棒スパナ	1
	六角穴付止めネジ 3×5	1
	取扱説明書	



本紙は単品販売品と2連キット共通説明書になります。上記構成内容は単品販売(09-05-0030)のもので、車種別スピード&タコメーター2連キットの場合、上記構成内容とは付属品が異なります。2連キット取り付け説明書の方で構成内容をご確認下さい。

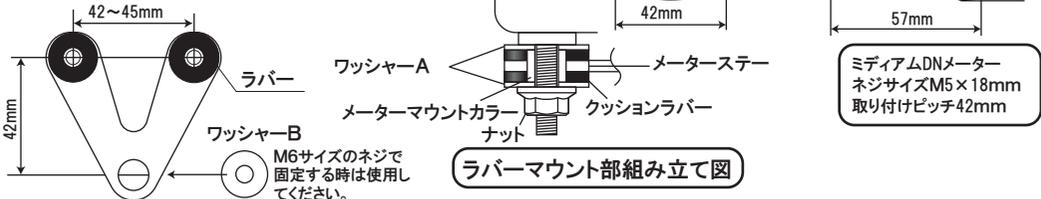
ご注意ください

◎本製品は完全防水ではありません。進入した湿気が出て行くように湿気抜きを本体裏面に設けております。湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

バッテリー、プラグ、配線の状態(取り回しや、接続状況)によってはメーターの作動に数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。バッテリー状態の悪い車両やバッテリーレス車両ではメーター電源電圧が安定していない為、誤作動や故障の原因となります。またメーター電源電圧の変化が大きい車両や点火系ノイズの激しい車両では、メーター内部の電気信号が乱れ、表示に間違った情報を表示してしまう可能性があります。装着時は各部の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をしてください。

① 本体の取り付け

- メーター本体を付属のメーターステーを使い固定してください。
- ・ステー固定用の穴はM10サイズのネジが通るようになっています。ハンドルクランプなど見やすい場所に走行中外れたりしないようしっかりと固定してください。
- M6サイズのネジで固定する場合は付属の「ワッシャー-B」を使用し固定してください。
- ・ラバーマウント部の組み立て、メーター本体の固定に関しては右下の図を参考にしてください。



② 電源の接続 必ずバッテリーの直流電源が必要です。

作動用にDC12V電源への接続が必要です。メーターの配線色およびギボシサイズはホンダ車向けになっております。(モンキー・ゴリラの場合配線加工無しで使用可)バイクによって配線を加工する必要があります。配線はギボシを使い接続する事を推奨します。配線先の無い場合はギボシを切り落とし、付属のエレクトロタップを使用し接続して下さい。

必ずバッテリーの安定した直流電源が必要です。弱ったバッテリー、バッテリーレス車、バッテリーレスKIT装着車では絶対に使用しないで下さい。キーONだけで(エンジン停止状態)メーターの電源が入る様にして下さい。

メーター赤コード

下記2種類のどちらかを選択
キーON時DC12V電源
「メーター黒コード」と同じ所に接続して下さい。電源OFF時に待機電流が流れなくなります。ミニバイク(モンキーや原付スクーター)などバッテリーの小さい車両でご使用の場合、こちらの配線をお勧めします。(ただし、電源OFF時に指針が0に戻らなくなります。別記「④タコメーターの設定変更」が出来ません。)

メーター黒コード

キーON時DC12V電源
黒コードはメーター作動用電源で、キーのON時にDC12Vがかかる配線へ接続して下さい。エンジン始動で電圧のかかる配線への接続は間違いですのでご注意ください。

メーター緑コード

アース配線
緑コードはメーター作動用のアース配線です。車両のアース配線または、直接ボディーアースして下さい。

各メーカーの代表配線色(※1)

	キーON時DC12V		常時DC12V	アース色
HONDA	黒	赤/黒	赤	緑
YAMAHA	茶	赤	赤	黒
SUZUKI	橙	赤	赤	黒/白
KAWASAKI	茶	白	白	黒/黄

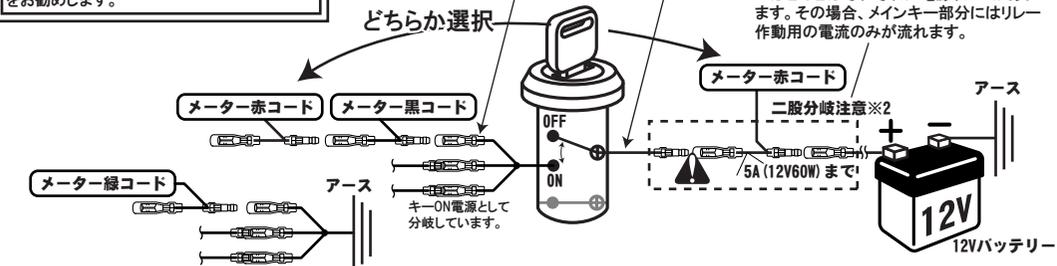
※1)車種によって(特に旧車)配線色の異なる場合があります。

※2)二股分岐部の配線に流せる電流量は5Aまでです。キーON後に使用する電装の合計W数が60Wを超える場合は二股分岐部を切り落とし直接車両ハーネスに赤コードを接続して下さい。

「アドバイス」セルモーターやバッテリー電源ヘッドライトのほとんどはそれぞれに電源リレーがあります。その場合、メインキー部分にはリレー作動用の電流のみが流れます。

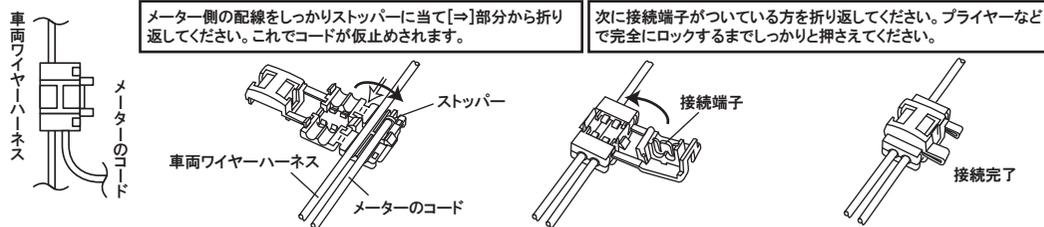
常時DC12V電源

バックアップ用電源として、キーのON/OFFやエンジンの作動に関係なく、常にDC12Vを接続します。各種設定の保護が確実になります。(電源OFF後に指針が必ず0まで戻ります。④タコメーターの設定変更が可能です。)待機電流(4mA)が流れる為、しばらく乗らない場合はバッテリーのコネクターを外して下さい。ミニバイクなど(モンキーや原付スクーター)バッテリーの小さい車両でご使用の場合、待機電流を無くす為上記キーON電源への接続をお勧めします。



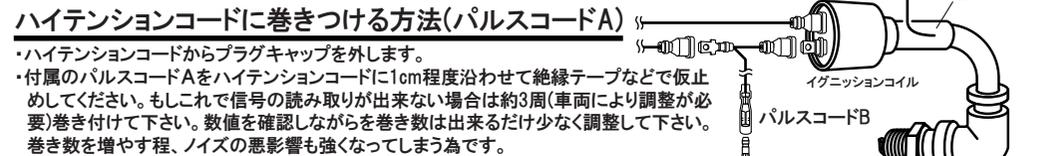
●エレクトロタップのご使用方法

エレクトロタップを使用し配線を接続する場合はラジオペンチなどで配線のギボシを切り落としして下さい。



③ パルスコードの接続

メーター茶コード ●メーター側で発火回数設定変更が必要な場合があります。



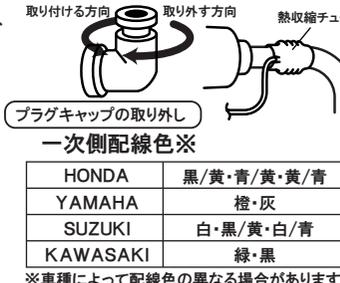
ハイテンションコードに巻きつける方法(パルスコードA)
 ・ハイテンションコードからプラグキャップを外します。
 ・付属のパルスコードAをハイテンションコードに1cm程度沿わせて絶縁テープなどで仮止めしてください。もしこれで信号の読み取りが出来ない場合は約3周(車両により調整が必要)巻き付けて下さい。数値を確認しながら巻き数は出来るだけ少なく調整して下さい。巻き数を増やす程、ノイズの悪影響も強くなってしまいます。
 ・テープで配線を仮止めしている部分に熱収縮チューブを通し、ドライヤーなどで熱しチューブを収縮させてください。
 チューブの収縮温度は90℃以上で、約50%の内径まで収縮します。
 ・最後にプラグキャップをしっかりと取り付けてください。

危険 タンクにガソリンがあり、大変危険ですので、ライターなどの火を使いチューブを収縮させることは絶対に止めてください。

パルスコードAは長め(約2m)にしておりますので、各車両に合わせ必要な長さに切断し、使用してください。

イグニッションコイルに直接接続する方法(パルスコードB)

・付属のパルスコードBを使いイグニッションコイルの一次側端子に接続してください。
 ・各車種で配線色は異なります。右図を参考に配線を接続してください。このときアース側に接続してしまいますと作動しませんのでご注意ください。
 B接続は車両の種類によっては、エンジン回転数に応じて速度計が運動してしまうことがあります。点火の強い電気が電源コードの方に電波のように入ってしまうことが原因です。対策方法としては
 ●パルス入力系をパルスコードAに変更する。
 ●アースコードの接続状態を確認してください。アース不良も原因の一つになります。
 ●配線の取り回しを変える。メーター電源コードとタコメーターコードを出来るだけ離してください。
重要 プラグはレジスタータイプを使用してください(イリジウム可)。ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。ノイズが表示の乱れや故障の原因となってしまう可能性があります。



2種類の取り付け方法について

2種類の取り付け方法どちらも表示されるエンジン回転数は基本的に変わりませんが、推奨はパルスコードAです。数値表示が不安定になってしまった場合、パルスコードAの方が安定する場合があります。また、巻き回数を減らす、増やす、巻く位置を変えるなどで数値表示で不安定だったのが直り、安定する場合がありますので試して下さい。発火回数設定が間違っている場合は、数字が半分や2倍、3倍になります。

モンキー、ゴリラ(キャブレター)

チューンナップ車両は **A**
 ノーマル車両は **A** 又は **B**
 ★A、B接続どちらでも作動しますが、チューンナップ車両、ノーマル車両、両方でA接続を推奨します。メーターの設定2C:1P
 チューンナップ車両で高回転まで使用する場合は、必ずA接続にしてください。配線がシンプルなB接続はノーマル車両専用です。

エイプ(キャブレター)・XR50/100モーター

12Vバッテリー電源が必要 **必ず A**
 ★A接続で取り付けの方が安定します。メーターの設定2C:1P
 高回転での点火をより正確するために当社製Ape用「ハイパーC.D.I.」の取り付けを推奨いたします。

モンキーFI・エイプFI

必ず A
 ★A接続で取り付けでのみ作動します。メーターの設定4C:1P
 プラグコードのイグニッションコイルに近い方に2cm沿わず程度配線してください。

武川C.D.I.マグネットKIT

12Vバッテリー電源が必要 **必ず A**
 ★A接続でのみ作動します。メーターの設定2C:1P
 コード巻き数はとても少なく、沿わず程度です。メーターの設定2C:1P

④ タコメーターの設定変更

車両のメインキーをONにし、メーターの電源が入った状態にしてください。

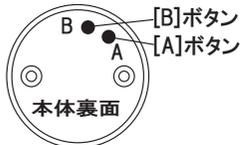
[A][B]を3秒間押す

[A]で数値変更
発火回数設定画面になります。
まず左側のC数値を調整します。
[A]ボタンで数値を変更します。

[B]を押す

[A]で数値変更
次に右側のP数値を調整します。
[A]ボタンで数値を変更します。

[B]を押す



④-2 温度計の設定変更

摂氏表示

華氏表示

[A]ボタンで変更

ご確認下さい。

キーOFF後に常時電源を利用し設定変更を記録します。その為②電源の接続でメーター赤コードを常時電源に接続していない場合、設定の更新は出来ません。設定変更時だけ常時電源に接続するか、コネクタの抜き差しで仮電源を作り設定作業を行って下さい。
約1秒で書き込み作業は終わります。

キーON時

赤コード>+12V接続
黒コード>+12V接続
緑コード>アース接続

キーOFF時

赤コード>+12V接続
黒コード>接続無し
緑コード>アース接続

上記で“2C”を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒1⇒2⇒…となります。
また“4C”を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒5⇒6⇒8⇒10⇒12⇒1…となります。ご自分のバイクに合わせ、選択してください。

エンジン種類(C数値)、気筒数(P数値)について

ここでのエンジン種類、気筒数はクランクシャフト1回転回りの発火回数を表すための例です。ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

Pは気筒数の例え

0.5回はクランクシャフト2回転に1回発火を表しています。

クランクシャフト1回転あたりの発火回数	0.5回	1回	1.5回	2回	2.5回	3回	4回	5回	6回
2C (2サイクルエンジンの例え)		1-P		2-P		3-P	4-P		
4C (4サイクルエンジンの例え)	1-P	2-P	3-P	4-P	5-P	6-P	8-P	10-P	12-P

●ご自分のバイクの発火回数が分からない時

エンジン種類は[2C]固定で、まず気筒数を[4P]に設定し、エンジンを軽くふかして表示数値を確認してください。気筒数4Pでは大抵実際よりも少なく表示されますので様子を見ながら3P → 2P → 1Pと数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。
モンキー系エンジン、エイブ系エンジン、その他4サイクル1気筒、4気筒のエンジンの多くがクランクシャフト1回転あたり1発火ですので設定は[2C:1P]となります。
2サイクル1気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト1回転あたり2回発火で[2C:2P]の場合があります。

⑤ 温度計接続

付属のスティックタイプ温度センサーは当社オリジナル形状です。ご使用にはセンサー差込口のある別売のアダプターやボアアップシリンダーが必要です。取り付け車種、箇所に応じて別売オプションパーツをご用意ください。
キット付属品17:六角棒スパナと18:六角穴付き止めネジはセンサー固定の際に使用します。止めネジにはネジロック剤を塗りセンサーに薄い傷が付く程度以上締め込まないで下さい。締め過ぎますと、変形によりセンサー故障の可能性があります。

プラグは必ずレジスタータイプを使用してください。ハイテンションコード、イグニッションコイルもノーマルをご使用ください。センサーとプラグがとても近い取り付け場所の場合やレジスタータイプでも古いプラグを使用された場合はノイズにより表示温度が乱れる事があります。

温度計配線 約900mm 温度センサー 最高150°Cまで測定可能

メーター側

補修部品07-04-0552

補修部品07-04-0551

φ3

LOCK

ネジロック剤

18:止めネジ

●対応シリンダー・APE50用ボアアップシリンダー全種・APE100用ボアアップシリンダー全種
●別売アダプター オプションパーツをご覧ください。

オプションパーツ(別売部品)

センサー差込み口

付属のスティックセンサー

スティックセンサー差込口のあるドレンボルトアダプターです。

アダプター名	ネジ径	ピッチ	商品番号
A1	12mm	1.5mm	07-04-054
A2	36mm	1.5mm	07-04-0541
A3	12mm	1.5mm	07-04-0542
A4	14mm	1.5mm	07-04-0543
A5	18mm	1.5mm	07-04-0544

シーリングワッシャー5枚セット

M12用:A1、A2用
07-040-0001
M14用:A4用
07-040-0002
M18用:A5用
07-040-0004

耐熱チューブ M5ナット

●M5センサー 07-04-0552

ネジ径:M5
ピッチ:0.8
長さ15mm

●B1センサー 07-04-055

PT1/8

約900mm

●温度センサー延長コード 07-04-0522

コネクタの間に接続してご使用いただく延長コード。(900mm延長)

本製品、付属のスティックセンサー

●オイルクーラーホース 内径8mm用アタッチメント 07-04-0521

内径φ8mmホース

B1センサー(別売)

●デジタル水温計アタッチメント

ユニオン径

※ご使用には別途B1センサーが必要です。

ユニオン径	商品番号
14mm	07-04-14
16mm	07-04-16
18mm	07-04-18
22mm	07-04-22
26mm	04-04-26

注意

エンジン、マフラー(エキゾーストパイプ)などの、高熱を発生する場所にコードが接触しないよう配線の取り直しには十分気を付けてください。またステムなどの可動部分において、コードが引っ掛かる。挟まるなどし配線が断線してしまう恐れがありますので大丈夫かどうか良く確認してください。取り付け後も必ず定期的に点検してください。
取り付け作業、点検作業は走行直後などエンジンの熱くなっている状態では行わないでください。油温や、水温の高い状態で作業しますと火傷の危険があります。

トラブル

- LCD画面が横棒のままになっている。
→バッテリーの電圧がメーター作動電圧以下です。バッテリーを充電又は交換して下さい。
- アイドリング時LCD画面が横棒のままになっているが、回転を上げると作動し始める。
→配線が間違っている可能性があります。故障の危険が高いため、すぐに配線を確認して下さい。
A:バッテリー電源では無く、エンジン回転数で大きく電圧が変化するAC電源に接続されています。
B:バッテリーが完全に死んでいます。すぐに交換して下さい。
- タコメーターの数値が安定しない。
→ノイズの影響の可能性があります。信号を読み取りにくくなる事で正常になる事があります。パルスコードAで巻き付け回数を減らす。ハイテンションコードに1cm程度沿わせる。イグニッションコイル側面にパルスコードAを貼り付けるだけにします。
→当社製以外の外品のC.D.I.やその他点火装置(イグニッションコイル、プラグコード)を使用している場合、ノイズが強くなります。そのノイズの影響で安定していない可能性があります。



〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL(0721)25-1357 (代)
FAX(0721)24-5059

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
ホームページアドレス <http://www.takegawa.co.jp>